

「緊急地震速報」の導入について

緊急地震速報とは？

**地震による大きな揺れがやってくる前に、
地震の発生を知らせてくれる報知システムです。**

地震は、P波と呼ばれる小さな揺れのあと、S波と呼ばれる大きな揺れが来ます。気象庁による緊急地震速報は、震源近くの地震計が捉えたP波から予測される、「地震の規模」や「震源地」、「各地の震度」を、大きな揺れ(S波)が到達する数秒から数十秒前に各地の利用者に知らせるものです。

岐阜聖徳学園大学では、羽鳥キャンパス、岐阜キャンパスで震度5弱以上が予測された場合、室内放送を通じて学生・教職員に地震の発生を知らせます。

緊急地震速報の受信



9月1日から緊急地震速報により、それぞれのキャンパスにおいて震度5弱以上と予想された場合には、防災放送設備が自動的に起動し、全学一斉に報知音が2秒間2回鳴り、引き続き「地震です 身を守ってください」の緊急放送が流れます。

退避行動

- ①ドロップ：まず低く！ ②カバー：頭を守り！
 - ③ホールドオン：動かない！
- 「姿勢を低くして、頭を守り動かないように」。



発生時の身の守り方の考え方 (Drop, Cover, and Hold On) を提供

避難行動

大きな揺れがおさまったら避難場所へ
羽鳥、岐阜キャンパスとも中庭に避難してください。

(羽鳥キャンパス9号館は第二学生会館南側)

学生は学部学年ごと(教育学部は専修別)に整列し、教職員は名簿により点呼を行う。
学生は原則帰宅となります。帰宅困難者は、避難所(羽鳥キャンパス第2学生会館、岐阜キャンパス体育館)での待機となります。



緊急地震速報には限界があります！

緊急地震速報には、次のような限界が有ることを、よく理解して行動しましょう。

- 誤報が流れることがあります。○震度は予測値です。
- 緊急地震速報が報知されない場合や、間に合わない場合もあります。